

様式4



平成24年 3月30日

宮崎県知事 河野 俊嗣 様

一般社団法人みやぎ公共・協働研究会
代表理事 原田 隆典



新しい公共支援事業に関する報告について

新しい公共支援事業について、以下のとおり支援の成果及び自己評価等を報告する。

1. 報告者の位置づけ（該当する□にチェック）

- 支援対象者（活動基盤整備支援、寄附募集支援、融資円滑化支援）
- 支援対象者（つなぎ融資への利子補給）
- 事業実施主体（新しい公共の場づくりのためのモデル事業）
- 事業実施主体（社会イノベーション推進のためのモデル事業）
- 都道府県から業務を受託した中間支援組織等

2. 新しい公共支援事業に係る成果

- ① 支援対象者（活動基盤整備支援、寄附募集支援、融資円滑化支援分）の場合、様式4-1を参照。
- ② 支援対象者（つなぎ融資への利子補給分）の場合、様式4-2を参照。
- ③ 事業実施主体（新しい公共の場づくりのためのモデル事業分）の場合、様式4-3を参照。
- ④ 事業実施主体（社会イノベーション推進のためのモデル事業分）の場合、様式4-4を参照。
- ⑤ 都道府県から業務を受託した中間支援組織等の場合、様式4-5を参照。

3. 添付書類

- (1) 上記2. において参照する様式及び別紙
- (2) その他参考となる書類

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 寄附を受ける側の情報力・ノウハウ・スキルアップによる寄附体制の整備促進
事業の種別	<input type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他(複数回答可)
受託者名	一般社団法人みやざき公共・協働研究会
実施期間	平成23年9月5日～平成24年3月22日
受託金額	1,983,450円
受託内容	<p>寄附を受けるNPO等の受入体制の整備、寄附者とNPO等とを結びつける仕組みづくり、および地元企業等のNPO等に対する理解の促進を図るため、次の事業を実施した。</p> <p><u>(1) 専門家派遣による個別指導</u></p> <p>① 専門家による個別指導及び個別セミナーの開催</p> <p>【実施内容】</p> <p>今年度大きく改正された寄付税制やNPO制度改革を受けて、早期の県内専門家の養成が重要と考え、制度改革の中身に詳しく、事例の実践者でもある専門家(ソーシャルラボ代表 田中康文氏)による「社会貢献コーディネーター養成講座」を開催し、寄附獲得の専門家の養成も兼ねるとともに、希望者に対して個別指導(フォローアップ)をすることとした。</p> <p>日 時：平成24年2月17日 14:00～16:40</p> <p>場 所：宮崎市中心公民館</p> <p>参加者：28人</p> <p>告知方法：チラシ200部(100部は郵送)、ホームページ、メールマガジン、県の掲示板、電話、個別メール、facebook、MRTラジオ(ボランティアワールド)、宮崎日日新聞広告、情報誌(Quitto)へのパブリシティ。</p> <p>成 果：アンケートから、今後のフォローアップ(寄附獲得や支援者獲得の実践について)希望者が7名(7団体)あった。また、その指導は専門家としてソーシャルラボ代表の田中康文氏(電話：090-1537-8999)に行ってもらったこととした。実績として、まだ完結しているものはないが、今後も引き続きフォローして行く予定である。</p> <p>反 応：facebook、メールによる問い合わせ、メディアの取材(NHK宮崎ニュース、NHK九州沖縄の情報枠での放送)</p> <p>その他：勉強会でのフォローを実施。</p> <p><u>(2) 寄附募集の方法等に関する研修</u></p> <p>① 各分野の専門家によるNPO等を対象とした研修会を開催</p> <p>【実施内容】</p> <p>「NPOの寄附獲得スキルアップ研修と協働交流会」を実施し、専門家による講演、実施者(県内外NPO)による事例紹介を基本としたシンポジウムを開催した。同時に、企業向けのセミナーおよびNPO/企業の活動紹介ブースを用意し、双方の交流を図った。</p>

日 時：平成 23 年 12 月 3 日 13:30～17:00

場 所：JA-AZM 大研修室

講 師：日本ファンドレイジング協会次長 徳永洋子氏

パネリスト：日本ウミガメ協議会 水野氏

宮崎文化本舗 高妻氏

みやざき子ども文化センター 長谷川氏

ホームホスピス宮崎 市原氏

参加者：41 人 (28 団体)

告知方法：チラシ 500 部 (300 部は郵送)、ホームページ、メールマガジン、県のホームページ、電話、個別メール

成 果：事後アンケート回答者(21 団体)の 100%が、「研修がためになった」と回答し、90%が「今後の勉強会などで引き続きスキルアップしたい」と回答した。また、途中で記入してもらった質問・感想票の回答者(16 団体)のほぼ 100%が「寄附獲得について啓発された」と回答し、この研修会をきっかけに、認定 NPO を目指す NPO からの問い合わせが 5 団体 (実際はもっと多いと考えられる) あり、3 人が認定ファンレイザー資格獲得に向けた取り組みをはじめた。

・認定 NPO を目指す NPO (当団体への問い合わせがあった団体のみ)

反 応：寄附に関するイベントへの参加問い合わせ (直接、電話)、メディアの取材 (宮崎日日新聞)

(3) 寄附の先進事例の収集と NPO 等への情報提供

①インターネット等により寄附の先進事例を収集し、(2)の研修会で情報提供を行う。

【実施内容】

平成 23 年 9 月よりインターネットによる寄附事例調査および日本ファンドレイジング協会による紹介などによって情報を収集し、資料として取りまとめた。それを編集し、36 ページの冊子 (100 部印刷) にして研修会場で配布するとともに、相談者・希望者へ個別配布した。

また、平成 24 年 2 月 3 日～5 日に開催された「ファンレイジング・日本 2012」に出席して最新動向および事例を収集し、その後に開催した勉強会 (24 年 2 月 23 日) で参加者に対し、情報提供を行った。

②社会貢献に係る情報交流サイトでの情報提供を行う。

【実施内容】

みやざき公共・協働研究会の HP を改修し、研修会やセミナーなどの情報提供を行った。また、ソーシャルメディアである facebook にもページを設けて発信した。

③寄附に係る情報を掲載したチラシの作成

(1) (2) の各研修会、セミナーの案内チラシを作成する際に、寄付税制の改正や NPO 法の改正などの文章を盛り込み、関心を促した。(1) に関わるチラシは 500 枚印刷、(2) に関わるチラシは 200 枚印刷し、郵送、手渡しによって配布した。

(4) 地元企業等への説明会の開催

①寄附市場や寄附文化の動向、県内 NPO 等の情報、企業の社会貢献活動の最新情報を県内の企業に伝える説明会を開催

【実施内容】

(2)のNPO向けの研修会に、企業へも参加を呼びかけ、NPO/企業の活動紹介ブースで相互に情報を交流する場を設けた。また、基調講演、シンポジウムの後に企業向けミニセミナー「企業価値を高めるCSRとは？」を開催し、企業の社会貢献活動に関する最新情報を紹介した。

日時：平成23年12月3日 13:30～17:00（企業向けセミナーは16:00～17:00）

場所：JA-AZM大研修室

講師：日本ファンディング協会次長 徳永洋子氏 その他

参加者：21人（14社）

告知方法：チラシ、ホームページ、メールマガジン、県のホームページ、商工会議所、電話等

成果：事後アンケート回答者は4社と少なかったが、3社が、「今後NPOとの協働や社会貢献をしたい」と回答した。

反応：メディアの取材（宮崎日日新聞）

(5)チャリティイベント等の開催

①NPO等への実際の寄附を行うためのチャリティイベントを開催

【実施内容】

飲食店などと協力して行う英国発祥の寄附イベント「パプクイズ」を研究し、実施した。

平成23年12月16日 居酒屋「ほっこり」での忘年会と組み合わせて実施

参加者：20名 寄付額：3,702円

寄付先：NPO法人宮崎21高齢者福祉研究会

平成24年2月17日 「社会貢献コーディネーター養成講座」にてパプクイズのデモを実施

参加者に寄附イベントモデルとして紹介。

平成24年2月24日 レストラン「ラポール・ド・クニトミ」のワイン会と組み合わせて実施

参加者：17名 寄付額：7,000円

寄付先：NPO法人青少年の自立を支援する会宮崎

反応：「ラポール・ド・クニトミ」での参加者より、「寄付先が明確で、その情報を知ることができ、クイズも楽しめて寄附のしやすい方法だと感じた」というご意見をいただいた。

寄付先（青少年の自立を支援する会宮崎）からは、「活動を知っていただくことが盛り込まれているのは良い方法だと思う」というご意見をいただいた。

②イベントの情報は社会貢献に係る情報交流サイトで公開する。

【実施内容】

みやざき公共・協働研究会のHPおよび同facebookにて告知・報告を行った。

(6)中間支援組織等のファンレイザーの育成

①県内NPO等の中から希望団体に対し、ファンレイジングに関する研修会等の情報提供を行う。

【実施内容】

平成24年2月3日～5日に開催されたファンレイジングに関する国内最大のイベント「ファンレイジング・日本2012」（開催地：東京）の告知を研修会会場で案内し、問い合わせのフォローを行った。

この案内により、参加を表明した団体は2団体（内1団体は参加手続きの行き違いで参加はできなかった）。

	<p>②専門機関が開催する研修会へ参加し、フォローアップのための勉強会を開催する。</p> <p>【実施内容】</p> <p>当団体も中間支援組織として、日本ファンドレイジング協会が主催する「ファンドレイジング・日本 2012」へ参加し、認定ファンドレイザー初級講座（第一回）に参加するとともに、本セッションの司会も務めた（黒岩）。担当セッションは「ウェブを120%活用したファンドレイジング（講師：菅文彦氏）」。</p> <p>認定ファンドレイザー初級講座は、今年6月に予定されている「第一回准認定ファンドレイザー認定試験」の受験資格を得るために必要な研修のひとつでもあり、宮崎県から3人が受講した。</p> <p>また、各セミナーに参加して得られた情報を元に、希望者に対してフォローアップの勉強会を開催した。</p> <p>・ファンドレイジング・日本 2012 期 日：平成 24 年 2 月 3 日～2 月 5 日 場 所：日本財団ビル（東京港区虎ノ門） 参加者：700 人</p> <p>・勉強会 日 時：平成 24 年 2 月 23 日 13:30～16:00 場 所：みやざき公共・協働研究会事務所（宮崎市橘通西 5-6-57） 参加者：7 名 告知方法：研修会での呼びかけ、ホームページ、facebook、電話、個別メール</p> <p>成 果：認定NPO制度や寄付税制への関心が高く、参加団体のうち3団体が来年度より認定NPOを目指す意志を表明し、今後もフォローして行くこととした。また、今年6月に行われる准認定ファンドレイザー認定試験の受験資格獲得者が3人誕生した。</p> <p>(7)その他NPO等の寄附の受け入れ体制が整備される企画</p> <p>①既存の社会貢献に係る情報交流サイトに、NPO等が寄附を募ることのできる機能を付加し、寄附を求めるノウハウを共有する場を構築する。</p> <p>【実施内容】</p> <p>昨年度より構築準備をしていた「みやざき pro-sol ネット」を改修し、寄附などの呼びかけができる仕組みを構築している（現在は告知のための仮オープン中）。</p> <p>「みやざき寄附制度推進プロジェクト」の ATARACO へのリンクも設定予定。</p> <p>http://www.pro-sol.net/test</p>
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>個別の成果については、上記「受託内容」のとおりであるが、研修後のアンケート結果などにより、今年度大きく改正された「寄付税制」や「認定NPO制度」について、多くの関心のあるNPO等また企業に有益な情報が伝えられたと確信している。</p> <p>寄附体制整備に今求められる専門家としては、昨年6月に大きく改正された税制やNPO法に詳しい人材であることが必要と考える。そのような人材は現在希有なため、今年度はその育成を重視した事業内容とした。</p> <p>結果、寄附に関する国内最大の大会である「ファンドレイジング・日本」への参加により、より詳しい情報を求める団体が現れ、来年度より始まる認定ファンドレイザー資格にチャレンジを表明する個人が出てきた。当団体も、研修内容等が日本ファンドレイジング協会より評価され、「ファンドレイジング・日本」での重要なセ</p>

<p>ッションの司会も依頼された。それにより、全国的なファンドレイジングのネットワークへの参加が実現したことは、今後、宮崎にノウハウや最新情報を導入して行く上で大きな意味があると感じている。</p> <p>また、この事業で実施した研修会や勉強会、また告知を行ったホームページなどを通じて認定NPOに関心を持ち、来年度認定（仮認定）を目指すことを表明したNPOが複数団体现れてきたことは、今後宮崎の寄附体制を整備して行く上で大きな足がかりになると感じている。</p> <p>この成果は今後、具体的に准認定ファンドレイザーを宮崎に誕生させるための事業、より多くの認定NPOを誕生させるための事業などにつなげることができるものであり、宮崎に適したNPOファンド等のモデル構築なども視野に入れることができるものであると自己評価している。</p>	
評価ラ ンク	<input checked="" type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった （該当する評価にレを付けてください。）

- (注) 1 「受託内容」には、支援内容とともに、支援のアウトプット（具体的な実施事項、数量、期間等）について記載してください。また、専門家等の派遣については、その実績・評価の公表の有無及びそのアドレス等（ガイドライン6-8-3）についても記載してください。
- 2 「得られた成果及び自己評価」には、支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。

2. 添付書類

その他参考となる書類

別紙を参照ください。

平成23年度 寄附体制整備促進事業
区分別収支決算書

一般社団法人 みやざき公共・協働研究会
単位・円 2012年3月

区分	予算額	決算金額	増減	備考
謝金	270,000	244,800	-25,200	
旅費	280,000	383,420	103,420	日本ファントレッキング協会研修旅費などの超過
燃料費	20,000	20,000	0	
消耗品費	70,000	47,421	-22,579	
印刷製本費	80,000	58,800	-21,200	
通信運搬費	80,000	65,486	-14,514	
広告料	120,000	105,000	-15,000	
賃借料	120,000	50,120	-69,880	会場が低金額で使用できた
委託料	770,000	870,000	100,000	アクセスウェブ システム開発修正費の超過
小計	1,810,000	1,845,047	35,047	
一般管理費	173,450	138,403	-35,047	予算超過金¥35,047を管理費より支払
合計	1,983,450	1,983,450	0	